

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



# 今年のクリスマス&初売りの お買い物は社会にやさしく!!

たがさぼでは、12月7日(土)にクリスマス雑貨市を開催。一見おしゃれな雑貨ですが、実は購入することで途上国や障がい者、復興の支援につながります。今回は地元多賀城の応援になる雑貨を紹介します。



## さをり織り

「さをり織り」は、作り手がそれぞれの個性(差)を織り込む、という意味が込められており、老若男女・障がいの有無を問わず自由に表現できる織物です。多賀城市地域活動支援センター コスモスホールでは、障がいを持つ方が「さをり織り」で自分を表現し、形にすることで自信につながっています。個性あふれる織物は、缶バッチやくるみばたんとなって販売されています。

**【購入・問い合わせ】**

多賀城市地域活動支援センター コスモスホール まで (電話: 022-365-1165)



## ト音記号 ストラップ キーホルダー クリップ

新年のはじまりに  
ぴったりのト音記号!

楽譜のはじまりであるト音記号のグッズ。震災の被害を受けた障がい者自立支援施設 さくらんぼ が被災地とともに新たにスタートするという意味が込められています。さくらんぼの通所者が被災家屋で使われていた銅線を用いて手作業で作っています。商品を購入することで、通所者の収入につながります。ゆめの森(エスバル仙台店)、はあと(セラビ幸町店)で販売しています。

**【購入・問い合わせ】**

社会福祉法人嶋福社 さくらんぼ まで (電話: 080-1662-1179)



## check! たがさぼ Press!

たがさぼのクリスマス雑貨市では、市内外から約100種類の雑貨が集まりました。詳しくはブログをご覧ください。雑貨市出店商品の購入方法も掲載しています。

「たがさぼのクリスマス雑貨市を開催しました!」  
 2013年12月8日(日)掲載

## ヒント from “たがさぼ Press” たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

- **仙臺鍋まつりに生涯学習 100 年構想 実践委員会が出店!** 2013年11月10日(日)掲載  
多賀城に縁のある万葉集の詩人・大伴家持にちなんだ「やかもち鍋」が多賀城を飛び出し、仙台での鍋合戦に参戦!
- **たがさぼブログ日曜版-近づく多賀城駅前イルミネーション** 2013年11月17日(日)掲載  
今年も駅前を明るく彩る「悠久の詩都の灯」。点灯1週間前、人知れず奮闘する人たちの姿を追いました。
- **参加者が増える! イベント告知文 3つのポイント** 2013年11月28日(木)掲載  
「このイベントが、私に来てほしいと呼んでいる!」そう思わせるような、インパクトがあって心をくすぐる告知文の書き方とは?

### “たがさぼ Press”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼ Pressへ! \*ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



## たがさぼからのお知らせ たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

### 写真で見つける昭和の多賀城講座

仙台でまちの歴史を記録して後世に残す活動に取り組む、NPO法人 20世紀アーカイブ仙台の佐藤正実さんを招き、古い写真の収集・保存・整理などについて学びます。また、昭和の多賀城の写真を手がかりに、当時の暮らしの移り変わりや市民の想いを知り、記録を残していくことの大切さに気づく講座です。昔の写真を地域活動などに活かしたい方、地域のこともっと知りたい方はぜひご参加ください。

日にち	2014年1月18日(土)・2月8日(土)の全2回
時間	午後1時30分~午後3時30分
会場	多賀城市文化センター内中央公民館 第2会議室
費用	500円
定員	15名(先着順/要事前申込)
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745

# 地域への想いを歌に乗せて

今回は、シンガー、作詞・作曲家、ラジオパーソナリティ、MCなどマルチに活躍するアサノ タケフミさんにお話をうかがいました。

多賀城・塩釜を中心に活躍するアーティスト アサノタケフミさん。多賀城をイメージした曲「ポエムシティ・フォーエヴァー」やご当地ヒーローであるタガレンジャー（多賀城）・のりレンジャー（塩釜）のテーマソングなどを歌い、地域を盛り上げています。

そのルーツは中学2年生の時に友達から誘われたカラオケ。音楽に目覚めたアサノさんはバンドに参加するようになり、NHKのど自慢の多賀城大会で優勝したのをきっかけに本格的に音楽の道を歩み始めました。現在は、自分が大好きな音楽を通して生まれ育った地域を元気にするため、ライブイベントから町内会のお祭りまで呼ばればすぐに駆けつけています。

そんなアサノさんは、コミュニティFM「ベイウェーブ」のラジオパーソナリティとして地域の情報を発信しています。音楽とともにおもしろいイベント、おいしいお店といった多賀城や塩釜がもつ魅力を伝えていきたいそうです。もっと有名になって「アサノが紹介していたから行ってみよう」「アサノがおいしいと言っていたから食べてみよう」と住民が地域の魅力に気づき、また、市外から多賀城や塩釜にお客さんが集まるきっかけになっていくことが目標だそうです。



アサノタケフミ



のりレンジャー



タガレンジャー

テーマソングはテンション上がります！

ラジオ番組  
**「Be Alive!」**  
パーソナリティ：アサノタケフミ  
78.1MHz

アサノタケフミさんがお送りするラジオ番組「Be Alive!」は毎週月～金曜日12:00～13:00絶賛放送中！塩釜やその周辺地域で聴くことができます。また、ウェブサイト「サイマルラジオ」を利用すればどこからでも聴くことができます。

サイマルラジオ：<http://www.simulradio.jp/>

ラジオについての問い合わせやアサノタケフミさんへの出演依頼はこちらから

エフエムベイエリア株式会社（ベイウェーブ）

TEL 022-363-3781 E-mail [info@bay-wave.co.jp](mailto:info@bay-wave.co.jp)

Twitter @781fm

FAX 022-363-5781 URL <http://www.bay-wave.co.jp/>

ハッシュタグ：#781fm



## ブックレビュー

たがさぽ図書コーナーの中から活動に役立つ本をご紹介します

「人と人が出会うことで、語り合いが生まれる。語り合いから、つながりが生まれ、そこから新しい何かが生まれる。——そんな場を、つくりたい」

「六甲山カフェ」。山とまちの文化をつなぎ、世代を越えた交流を生むために六甲山ろくで開かれたカフェもその1つ。さまざまな立場の人たちが集まって話し合い、それぞれが持っているアイデアやつながりを生かしてシンポジウム、DJイベントなど多くの企画が行われました。

その原点は、山納さんが行きつけどったバーで年代や仕事、趣味の枠を越えた人たちと出会い、いろいろと語り合ったことにあります。聞いたことが役立つだけでなく、多様な考えに触れることで、共感や信頼が生まれて人と人がつながっていく、そのような場の大事さ、必要性を知りました。このことが、のちに有志で運営した「コモンバー」「コモンカフェ」や、数々のプロジェクトの実行につながっていきました。

## common cafe (コモンカフェ)

～人と人が出会う場のつくりかた～

山納 洋（やまのう ひろし）著（2007年 西日本出版社）



多賀城にも、きっかけや方法はさまざまですが、このような場をつくった人たちがいます。ボランティア活動を通して知り合い、飲み会がきっかけでできた団体（※1）。自分の「好き」を地域で活かそうとイベントを開催している人（※2）。「多賀城がこうなったらいいな」という思いから集まって活動を始めた人たち（※3）。このような場への参加、あるいは自らつくることで、まちのために活動する一歩目を踏み出すことができる——そのヒントがこの本には隠されています。

たがさぽの貸出図書「たがさぽ文庫」にて閲覧・貸出をしています。

- ※1 tag vol.2「ボランティアがつながるネットワーク」  
たがさぽPress「12月13日(金)開催『はじめる広場トーク』の様子」2013年12月15日(日)掲載
- ※2 tag vol.5「大人もわくわく大好きな絵本」  
たがさぽPress「絵本を味わうワクワクカフェ」2013年5月20日(月)掲載
- ※3 tag vol.11「光が包む新しい多賀城駅」  
たがさぽPress「多賀城駅前を彩るイルミネーション」2013年11月9日(土)掲載



「tag」には、多賀城（tagajo）の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ（価値）をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします！  
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら  
<http://www.tagasapo.org/>